



ながさき読書文化フォーラム
NAGASAKI READING CULTURE FORUM

第4回「ながさき 読書教育フォーラム」(ご案内)

期日：令和8年3月7日(土) 13:00～

場所：長崎市立図書館 多目的ホール

先着100名

【講演】

演題：「読書の歴史と未来」

講師：三宅香帆 氏(文芸評論家)

講師：三宅香帆 氏 プロフィール



文芸評論家。京都市立芸術大学非常勤講師。1994 年高知県生まれ。京都大学人間・環境学研究科博士後期課程中退。リクルート社を経て独立。主に文芸評論、社会批評などの分野で幅広く活動。

昨年末の NHK 紅白歌合戦で審査員をつとめるなどメディアでも活躍中。

著書『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』『「好き」を言語化する技術』『考察する若者たち』等多数。

【講演概要】

忙しく働く大人ほど「本を読みたいのに読めない」という悩みを抱えています。

文化庁の調査でも、16 歳以上の 6 割以上が「月に 1 冊も本を読めていない」と回答し、読書は子どもよりも大人のほうが難しい行為になりつつあります。

本講演では、文芸評論家として、日本の読書史と労働史をたどりながら、この“読めなさ”の正体に迫ります。明治から戦後までは「教養」、バブル期には「娯楽」として共有されてきた読書が、90 年代以降の個人化によって意味を失い、現代では「情報だけを求める」読み方が主流に。

AI 時代だからこそ「ノイズ＝背景文脈や周辺知識」が不可欠。ノイズを取り入れることで、思考の幅が広がり、他者への想像力や新しいアイデアが生まれる。では、そのノイズをどう扱えばよいのか。

ビジネスや教育などに直結する「言語化力」を鍵として提示し、自分の感覚をクリシェに頼らず表現する方法、具体例から思考を深めるステップ、そして“好き”を細分化して言葉にする技術など、実践的なメソッドなどを紹介します。

【フォーラム】

新たに発足した「NPO法人 ながさき読書文化フォーラム」について説明し、今後どのような活動が展開されるか、登壇者によるトークセッションが行われる他、参加者からも意見をいただきながさきの読書文化の未来について語り合います。

FAX 095-846-1821



ながさき読書文化フォーラム
NAGASAKI READING CULTURE FORUM

長崎県朝の読書連絡会事務局
長崎南山学園内 中島（教頭） 行

先着100名

—参加申込用紙—

第4回「ながさき 読書教育フォーラム」

期日：令和 8 年 3 月 7 日（土）13:00～

場所：長崎市立図書館 多目的ホール

—プログラム—

12:30～13:00 受付

13:00～13:20 開会行事（主催者挨拶・事務連絡）

13:30～15:00 講演

【講演会】講師：三宅香帆 氏（文芸評論家） 演題：「読書の歴史と未来」

15:00～15:20 休憩

15:20～16:30 フォーラム

【フォーラム】テーマ「読書のコレカラ」

（1）NPO 法人 ながさき読書文化フォーラムについて 会長挨拶・事務局から

（2）「読書のコレカラ」について考える

16:30～16:45 閉会行事

※FAX でお申し込みの場合は、下記に必要事項を記入し、送信してください。

FAX 申込記入欄

ご氏名： _____

所 属： _____

電 話： _____



<申込フォーム QR コード>

参加希望の方は3月3日（火）までに、下記の連絡先に FAX(この用紙)または
Web(上記の QR コード：<https://forms.gle/sHX2WXDdNEtPVRgs9>)でお申し込みください。

【申し込み・お問い合わせ先】

〒852-8113 長崎市上野町 25 番 1 号「NPO 法人 ながさき読書文化フォーラム 事務局」

長崎南山学園内 中島 寛（教頭） TEL 095-844-1572 FAX 095-846-1821

Mail h-nakashima@n-nanzan.ed.jp